

飛田常年（市政クラブ）

新規就農希望者への対応策は

問 現在農地法では、農地の取得、借入れは30アール以上の面積が必要である。それ以下の面積で就農できる仕組みはないか。

答 遊休農地の有効活用の見地から、市やJAが新たに5アール区画の市民農園を作ることにより、就農することが可能である。

地域での青色パトロールについて

問 地域での青パトを普及させる考えはあるか。



青パト車両

答 交通安全各地区推進協議会が交通死亡事故ゼロの日に広報している車両を、青パトとして併用してどうかと呼びかけを行っている。また、「北部防犯パトロール隊安全安心ステーション」や市に登録されている「防犯パトロール実施団体」に呼びかけを行っている。

日恵野佳代（日本共産党）
特定健康診査の受診について

特定健康診査の受診期間

問 特定健康診査の受診期間は、今年度は7月から12月26日である。また、この特定健康診査は年度の区切りという考えはないと聞いている。市は受診期間を延ばすべきではないか。

答 年度ごとに区切って行った方が、指導としての成果がいいと判断している。また一月ほど受診期間を延ばすのは仕方がないと思っているが、年度の中で完結させたいと考えている。

問 生活習慣病で通院していると特定健康診査が



受けられないのは東三河で蒲郡だけである。これでは他の病気が発見できない可能性があると思うがどうか。

答 まずは生活習慣病の予防ということで今年度行った。しかし、「生活習慣病の治療を受けている」というだけでは余りにも制限し過ぎたと思っている。来年度からは見直したい。

野崎正美（市政クラブ）

国道23号へのアクセス道路について

問 蒲郡西ICのアクセス道路となる県道荳谷蒲郡線の見直しについて伺う。

答 県道荳谷蒲郡線は、蒲郡西ICから国道247号中央バイパス、そして

蒲郡港を結ぶ重要なアクセス道路となるので、県道体系として整備してもらえようように、愛知県に対し要望を継続している。

競艇場外発売所の新設（新ボートウイング）

問 新設される施設はどのようなになるのか。

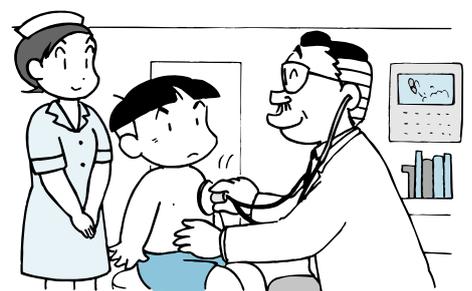
答 発売窓口を21窓にし、テレビを30台、画面も大型にしたものを設ける。また、飲食物やスポーツ紙、場内予想紙等が販売できるミニコンビニを設け、分煙のための喫煙室も設ける。さらに、休憩や食事がとれる場所として施設の南側に屋外広場をつくっていく。

小林優一（未来の会）

市民病院への地方公営企業法の全部適用は

問 地方公営企業法を全部適用することで、病院が公営であることのデメリットを解消できるか。

答 既に経営状況が悪化した病院が、経営形態を



変えることだけで問題のすべてが解消するわけではない。また、病院管理者に権限委譲が十分になされないケースもあり、全部適用が必ずしも公営であることのデメリットの解消につながるとは考えていない。

中小企業への信用保証料補助制度について

問 信用保証料補助を50%から100%にし、同時に利子補給についても検討する余地はあるか。

答 今回の措置は何らかの支援が必要との認識から緊急に手を打った制度であり、今できる最大の財政支出と考えている。